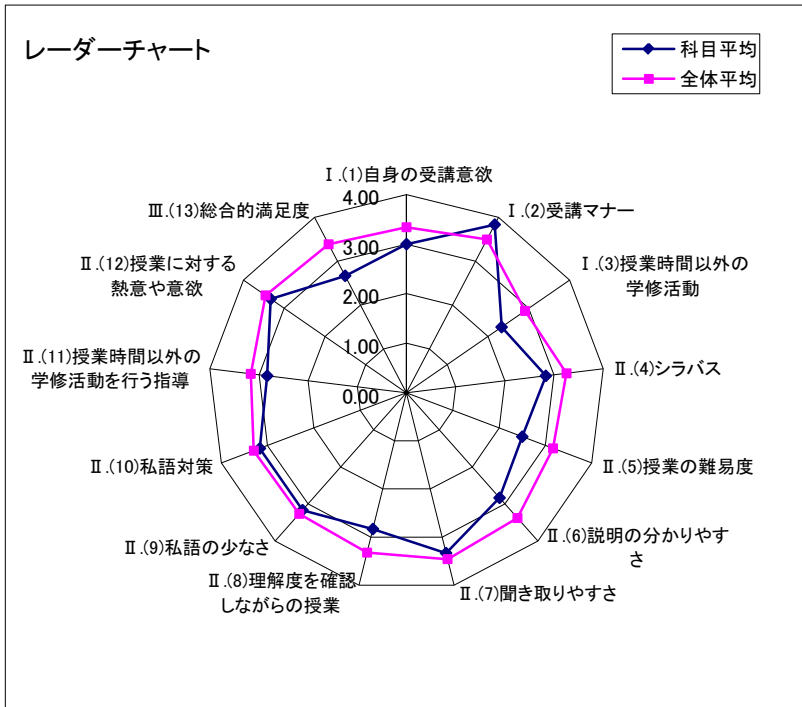
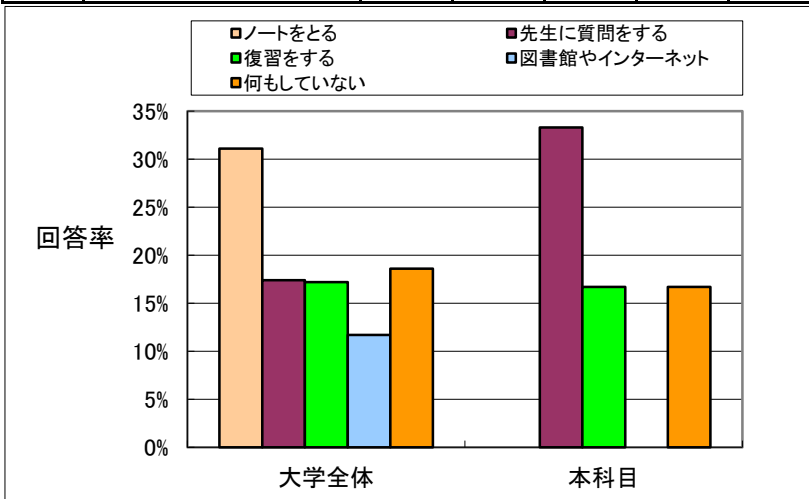


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14)	授業を理解するための工夫	0.0	33.3	16.7	0.0	16.7



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.00	3.34
	I.(2)	3.83	3.49
	I.(3)	2.33	2.91
講義内容・方法	II.(4)	2.83	3.26
	II.(5)	2.50	3.16
	II.(6)	2.83	3.38
	II.(7)	3.33	3.46
	II.(8)	2.83	3.32
	II.(9)	3.17	3.27
	II.(10)	3.17	3.30
	II.(11)	2.83	3.17
	II.(12)	3.33	3.46
	総合評価	III.(13)	2.67

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.06	3.25
講義内容・方法 II.(4)~(12)	2.98	3.31
総合評価 III.(13)	2.67	3.39

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	2206
科目名	基礎数学Ⅱ
教員名	

①授業計画の達成度について
再履修科目ということもあり、基礎力の充実並びに実際に問題を解いて解法を身につけることが目的であったが、達成度は必ずしも満足いくものではなかった。それでも後期試験で合格者が出たことは救いであると思われる。この科目は複数の担当者がそれぞれ担当しており、各担当者間のすり合わせも重要であるとする。

②授業の進め方について
基本的に問題を解かせて、学生を当てて黒板に解答を書かせ、答え合わせおよび解説を行った。教科書である数学検定3~5級の問題だけではなく、同等の問題を解かせることで、再履修者に対して飽きさせない工夫をした。ただ、学生間に学力の程度の差があり、同じ問題を解かせることについて疑問がなかったわけではない。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
おおむねアンケート結果が全体平均を下回る数値になっているが、再履修者対象科目ということからすれば、ある程度は致し方ないのではないと思われる。そもそも出席率が芳しくない点も問題であるとする。ただ、受講マナーが良かった点は救いであるとする。